

I N D E X

米国における個別化医療の推進状況について

CPhi Japan 2015 / ジャパンライフサイエンスウィーク 2015 のご案内

PDIS 最先端セミナー「創薬につなぐ日本の創薬基盤技術」のご案内

米国における個別化医療の推進状況について

個別化医療は、個々の患者に最適な治療を施すものであり、“the right patient with the right drug at the right dose at the right time”とされています。個々の患者の体質に合った薬剤を選択して投与することにより無駄な治療を回避し、医療費削減にも寄与すると期待されています。しかし患者からの視点では、国内で実際にどのような治療が個別化医療として受けられるのか、個別化医療を受けることができる医療機関が有るのか、まだまだの状況のように思われます。昨年秋に米国 Mayo Clinic で開催された個別化医療に関するセミナーに参加し、米国での個別化医療の実情を調査しました。

同クリニックは、中西部ミネソタ州ロチェスターという小都市に所在しますが、全米でトップレベルにランクされ内外から多数の患者が来院し、年間医療収入が1兆円を超える非常に大規模な総合医療機関であり、Center for Individualized Medicine (CIM)を設立し、医師とゲノム研究者及びインフォマティクス研究者の三者が一体となり、個別化医療の研究と治療を積極的に推進しています。このセミナーのタイトルは、Individualizing Medicine Conference 2014 <from Promise to Practice>で2014年10月に開催されました。

このセミナーでは、Mayo Clinicの乳がん個別化医療プログラムであるBEAUTYプロジェクト、遺伝子解析により患者個別に薬剤の用量・用法を決定するファーマコゲノミクス、個別化医療の基礎情報を得るためのバイオバンクとクリニカルシーケンス等の発表がありました。特にBEAUTYプロジェクトは有名であり、患者のがん組織を移植したゼノグラフトマウスを作成し、患者個人のがんに効果のある抗がん剤を探すという非常に意欲的な臨床試験プロジェクトです。既に140人の患者のリクルートを終了し、今年より薬剤耐性患者にフォーカスしたBEAUTY2を開始する予定です。

米国ではMayo Clinicだけでなく、MDアンダーソンがんセンター(テキサス州ヒューストン)、ピッツバーグ大メディカルセンター(ペンシルベニア州)など大規模な医療機関がより良い治療法の提供、即ちより良い患者サービスを目指した個別化医療を実践しています。個別化医療は研究ではなく、抗がん剤の選択や特定の薬の用量・用法決定など実際の治療に使われ、成果を上げてきていると言えます。米国でこのように個別化医療が実践できている背景には、医療保険の携行性と責任に関する法律HIPAA (Health Insurance Portability and Accountability Act)、CLIA lab. (Clinical Laboratory Improvement Amendments)の

ようなルール・法規制の整備、e-MERGE(電子カルテ・ゲノムデータ共有)、The Cancer Genome Atlas(TCGA)のような個別化医療関連のNIHプロジェクト及び大規模医療ネットワーク等のインフラ整備があります。更に、米国では個人のゲノム情報に基づいた抗がん剤の選択等の個別化医療が民間保険で償還可能なことも大きな理由だと思われま

以上のように、全米で様々な医療機関が個別化医療を研究ではなく医療の実践として推進しており、JBICとしても個別化医療を含めたパーソナルヘルスケア関連の最新動向と更なる可能性を調査して行きたいと考えています。

(JBIC 会員向けホームページに、上述の「個別化医療に関するセミナー参加報告」を掲載しましたので、会員企業の方は是非ご覧ください。

http://www.jbic.or.jp/members_only/survey.html)

CPhI Japan 2015 / ジャパンライフサイエンスウィーク 2015 のご案内

CPhI Japan 国際医薬品原料・中間体展をはじめとする医薬品開発のための国際展示会は、2015年度より、MEDTEC Japanなどの医療機器開発のための国際展示会とともに、新たにライフサイエンス産業を包括する国際イベント『ジャパンライフサイエンスウィーク』として開催されることになりました。

ライフサイエンス分野にフォーカスをあてた10の展示会(医療分野、製薬分野、介護・福祉分野)を同時開催することで、医療産業における日本の最新技術を世界に向け配信するとともに、新たなビジネスチャンスを創造します。

JBICはジャパンライフサイエンスウィーク2015の製薬分野の展示会「CPhI Japan 2015(国際医薬品原料・中間体展2015)」に出展いたします。JBICのブースでは、JBICが参画している各プロジェクトの概要やこれまでの研究成果についてご紹介する予定です。

【日時】2015年4月22日(水)~4月24日(金)

【会場】東京ビッグサイト 西1・2ホール

CPhI Japan 2015の詳細については公式ホームページをご覧ください。

<http://www.cphijapan.com/>

来場事前登録はこちらから

https://www.ubmjapan-group.com/cphi/form/visitor_regist.php

ジャパンライフサイエンスウィークとは?

<http://www.japanlifescienceweek.com/>

PDIS最先端セミナー「創薬につなぐ日本の創薬基盤技術」のご案内

文部科学省にて実施されている創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業

PDIS(Platform for Drug Discovery, Informatics and Structural Life Science)のセミナーが下記のとおり開催されますので、ご案内いたします。

PDIS 最先端セミナー「創薬につなぐ日本の創薬基盤技術」
構造生物学とゲノム科学の最前線はここまで来た

日時： 2015年2月4日(水)12:45～17:50

会場： 東京国際フォーラム ホールD7

東京都千代田区丸の内 3-5-1

主催： 文部科学省創薬等支援技術基盤プラットフォーム推進委員会
参加無料

創薬等支援技術基盤プラットフォーム事業の詳細についてはホームページをご覧ください

<http://pford.jp/about/>

プログラムの詳細及びお申込みは、下記をご覧ください。

<http://www.jbic.or.jp/news/event/>

=====
「JBIC 会員企業からのご案内」の項目を設けております。JBIC 会員企業で掲載して欲しい記事がございましたら、ご連絡ください。なお、掲載の可否については JBIC 事務局にて判断させていただきますので予めご了承ください。

JBIC に関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらから。

<https://www.jbic.or.jp/roku/contact/>

=====
配信中止、変更はこちらから。

<http://www.jbic.or.jp/news/mailmaga/>

=====
発行：一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム

JBIC めるまが編集部 <http://www.jbic.or.jp/>

=====
Copyright(c) 2015 JBIC. ALL rights reserved.